

事務事業名	広域連携による観光誘客事業			会計	一般会計		事業種別	政策	開始	25	終了	
H27担当課等名	観光課	H27係等名	広域観光係	H26係等名	広域観光係							
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり									
	施策	13	新しい力による新しい産業づくり									
目的	対象(誰・何を)	観光客						対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	伊那路・木曾路の広域的な連携により、上下伊那・木曾地域への誘客を図る							上下伊那・木曾地域地域への観光客数(万人)		1088	
	向上させたい上位施策の成果指標	観光消費額										
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	上下伊那・木曾地域にきた観光客数(万人)			1152	1088	1143	1172				
	定性目標											
事業概要	<p>1 「伊那路・木曾路広域観光連携会議」による伊那路・木曾路の特色を活かした広域的な事業を実施する広域連携のあり方について検討する懇談会の開催や花マップ等を活用した中京圏への誘客宣伝を行う 東アジアを中心とした海外サイクリングツアーの誘致、受入体制の整備、及び受入れを行う 冊子媒体を活用した観光PRや県内外のSA等においてPRキャラバンを行う</p>											
26年度事業内容	事業内容				名称				活動指標			
	1 伊那路・木曾路による連携事業 (1) 広域パンフレットの作成 (2) 観光誘客イベント等への参加及びSA等における観光PR (3) サイクリングツアーの実施及び受入れ 2 三遠南信による連携事業 (1) 三遠南信広域連携観光事業の検討 3 三遠南信・伊勢志摩による連携事業 (1) 海外用パンフレットの作成				1 (1) ア 種類 イ 印刷数 (2) 回数 (3) 回数 2 (1) 検討会議数 3 (1) 印刷部数				1 (1) ア 2種類 イ 40,000部 (2) 5回 (3) 2回 2 (1) 1回 3 (1) 10,000部			
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		0	0	0	0							
国庫支出金												
県支出金												
起債												
その他												
一般財源												
人件費計(千円)②		5,364		3,934								
正規職員所要時間		1,500		1,100								
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		5,364	0	3,934	0							
事業内容・目標達成状況の振り返り	伊那路、木曾路の連携による様々な事業を展開して、誘客を図ることができた。特に木曾の復興支援を同じ観光圏域である伊那路もバックアップする形で実施した。また、継続して海外からのサイクリングツアーの受け入れを行うとともに、国内ツアー実施に向けたモニターツアーを催行し、本格実施に向けた課題を認識することができた。											
改革改善の考え方	①問題点	伊那路・木曾路広域観光連携会議は、任意の団体であり予算も持っていない。さらに、事業を展開していく上では、組織の体制整備が必要である。また、御岳山の噴火が少なからず伊那路にも影響しているため、継続した支援が必要である。										
	②改革提案	組織としての強化を図るための検討を行う。また、木曾地域の早期復興を目指した取り組みの検討を行う。										